

---

# 魂のリセット

風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魂のリセット

### 【コード】

N3016I

### 【作者名】

凧

### 【あらすじ】

心に思う事あれやこれや。

私事（前書き）

ぼやき、愚痴、閃き

## 私事

私にとって独りになるって事は  
独りで生まれて来た原点に立ち帰るって事  
すなわち魂のリセット  
独りになる時間が無くなると  
私の魂は濁る

私事（後書き）

心の叫びってやつかも。

## 生きてる価値

朝寝坊を15分した

ダンナに生きてる価値無しと怒鳴られた

生きてる価値ぐらい自分で決めるさ！

とDVを愚痴ってみる

まい ぐらんぞまぞー

ばばあはいつも私の傍で笑ってた

どんな時でも笑っていてくれた

じじいはテロリストまがいの変人で

ママ神経質なシングルマザーだけど

私が何をしてもばばあが笑っていれば

全てがオツケーだった

そんなばばあの愛情に包まれ

私は育った

一昨日ばばあが死んだ

今

私は暗闇の中に佇む

## 死んだつもり

死にたくなったら

死んだ後を想像してみる

最初はみんな驚き

泣いてくれる人も居るかも知れない

でもそのうち忘れられる

それなら疎ましがられても

生きてやるうじやないか！

死ぬなんて馬鹿馬鹿しい！

そう思える様になる

せつかく産まれて来たんだもん

美味しいもの食べて

好きな事をしようよ！

理解者なんてたった一人居れば良い

誰も居ないなら私が居るからさ！

## 言葉

叩かれるより

言葉の方が痛い時がある

何人の人がそれに気付いているのだろうか

だから私は無口になる

一目惚れかな…？

今日の夕焼け

凄く綺麗だった

オレンジ色の空に向かい合うのは

黄色いまあるいお月様

きっと二人

恋をしたに違いない

## 宇宙から普遍の愛

地球って凄い！

天辺に居ても真逆に居ても

立って居られる

普通なら落ちちゃうのにね

ゴミを捨てられても

煙草の吸い殻を捨てられても

唾を吐かれても

花を咲かせ

食物を育ててくれる

命有るものの糧となる

宇宙って凄い！

お日様は万物を照らす

雨を降らせ植物を実らせ

風が吹き季節が変わる

そして無償で酸素をくれる

生きる為に一番に必要な酸素を惜しげもなく与えてくれる

命の有るものの礎となる

こんな当たり前の事を

凄い！って思える心で

いつも在りたい

当たり前の事に感謝する気持ちを失くしたくない

大宇宙に感謝

ありがとう

ありがとうね

a p a i n

僕は悪くない

一つも悪くない

なのに君は僕を責める

全ての行き違いを僕のせいだと責める

どうしていつも君は僕より楽で居られるの？

どうして君は僕より楽に呼吸が出来るの？

僕は逃げてないよ

何事からも逃げてない

ただ流してるだけ

君から放たれる矢を

ただ流してるだけさ

ママ見て私を

ねえママ

あたし知ってるよ

あたしはママのアクセって事

だって

お外では抱っこしてくれるけど

おうちじゃババに預けっ放し

お腹が空いたって泣いても

あたしのご飯はお洗濯の後

いっつもいっつも何かの後

あたしにパパが居ない事なんて気にしてない

だけどねママ

あたしママの一番になりたい

だからママ

もっとあたしを見て

見てくれないならおいたしちやうよ

## 生きる

どう生きるのかではなく

死に向かって

如何に生きるかが

今世の私のテーマ

生きる事においての確証は

変化と死しかない

あとは何の確証もない

その中で

如何に自分らしく生きるか

まず自分を見つけないと

ねえママ…

ねえママ…

なんで寝ないと怒るの？

ばばは抱っこしておんもをお散歩してくれるのに

ねえママ…

なんで泣いてもご飯くれないの？

ばばがお茶漬<sup>ちま</sup>け食べさせてくれたよ

ねえママ…

なんで私より先に寝るの？

ねえママ…

なんで無視するの？

ねえママ…

携帯ってそんなに大事？私より大事？

ねえママ…

なんで私を産んだの…？

## 大宇宙の体現

夕焼けが萌えてた

真っ赤に真っ赤に

命燃して

命萌やして

生きろと体現していた

ありがとう

あなたを見習います

## 最後の受肉

三回目にお空の受付けに並んだ時

観世音菩薩様に言われた

「あなたのカルマの精算が今世で終わります

急ぐ事はありません

良い事も悪い事も

最後の受肉と思つて楽しみなさい

病も試練も

乗り越えられぬ事を

私達はあなたに負わせませんよ

あなたは

私達の愛を伝える地上の媒体

お戻りなさい

あなたが選んだ肉体に

さあ…お戻りなさい」

目が醒めて

死ねない事を悟った

何度お空の受付けに並んでも

絶対戻される

それなら

楽しんでみようかな

観世音菩薩様に貰った愛を

みんなに分けてあげないとね

## 誕生

薄赤い液体の中

押される様に細いトンネルに入る

遠くに一点の光

窮屈な暗いトンネルを

一点の光目指し回転しながら進む

その先に

待ち受けていたのは

眩しい光の世界

誕生

私は産まれた

死を背負い

光の世界へ

希望と絶望が入り交じり

泣いた

大声で泣いた

そして

生きる決心をした

## 誓い

君は僕に尽くしてくれる

全身全霊で愛してくれる

そんなに尽くして愛してくれても

僕は何一つ返せないよ

そう僕は言った

あなたは返してくれてる

君は言う

私がそうする事を許してくれているじゃない

私にはそれが一番の幸せ

そう言い君は微笑む

僕は誓った

君だけを愛し

君だけに誠実でいようと

そう僕は誓った

生きようよ

死にたいと思ったら

私が居る事を思い出して下さい

私は日々生き恥を晒し

生きています

死にたいと思ったら

その理由を私に聞かせて下さい

同情なんてしません

ただ

ただ抱き締めていてあげる

遠くに居ても心は繋がる

ただ

ただ心を抱き締めていてあげる

あなたの心が満たされるまで

いつまでも

いつまでもね

## 魂の片割れ

私では

貴方の癒しにはなりませんか？

私では

貴方の話し相手にはなりませんか？

私では

貴方の感情の捌け口にはなりませんか？

私は

貴方から個人的にもらえる言葉なら

非難でも罵声でも構わない

私が

貴方の怒りを受け止める

受けてお空に放すから

貴方にとって

私は無価値ですか？

私にとって

貴方は私の…

私の魂の片割れ

神様の絵の具？

夕焼けは

信じられない程

綺麗な色を奏でる

神様は

どんな絵の具を

使っているんだろう？

## タナトスの森

タナトスの森に

迷い込んだら私を呼んで

カンテラ持って迎えに行くから

必ず行くから

そして手を繋ぎ

出口まで歩こうよ

言葉なんて要らない

繋いだ手のひらの中にある

絆にお喋りは任せてさ

私達は

温もりを確かめ合って

命を確かめ合おうね

## 訣別

裏切りは

期待した私への戒め

守りたい気持ちは拒絶され

何度目かのフォボスを味わう

もう止めよう

追いかけるのは

訣別を告げて楽になろう

心の拠り所は

他にも在る

私は私の為に生きよう

想いに重い蓋をする

二度と開けない覚悟を決めて

重い重い蓋をする

開ければまた

いつもの裏切りが待つだけ

身を切り刻む思いは

もう沢山…

もう沢山だよ…

その度に私は自分を見失い

錯乱する

意味の無い錯乱

なんか馬鹿みたいに思えて来た

本当に本当に

私は私を求める人達だけの為に

生きよう

あの人は

私を求めてはいない

最後の最後に

その要求に応えてあげよう

そしてさよなら

次の瞬間から

ときめきは失せる

## 「無」と「空」と苦情

「無」は何も無い事で

「空」は在るのに色が付いてない事なんだって

そう言えば

物や人じゃなくて

外で空間を見ると

光の微粒子が飛ぶ

キラキラきらきら綺麗

流行ってるお店には

金色の微粒子が

ミストシャワーみたいに降ってる

潰れるお店には

埃の微粒子が舞う

見えてるモノってさあ

みんなにも全部見えてるって

考えちゃいけないのかも知れないね

2000文字超えないと

投稿出来ないって

不便！

私の詩は短い

余計な贅肉つけたくないのに

つけないと投稿出来ない

やなのにつっ！っ感じ！

## 命の木

私は根を張る

広く深く根を張る

葉はむしられ枝は折られ

幹を切られようとも

私は生きる

張り巡らした根から

水を吸い養分を吸い

智慧を吸い取る

そしてまた

幹を伸し

枝を伸し

葉を付ける

私は生きる

何度折られようと

何度切られようと

何度むしられようと

私は生きる

それはあなた達人間の為

酸素を供給する為

愛しき人間達よ

私はあなた達の為

生きる

あなた達が

私の存在に気付かぬとも

私を傷付けようと

私は遙か昔から

あなた達を愛して来た

私は常にあなた達の味方

あなたの為に

私は生きる

## 魂の洗濯

ふと思う

最近何故こんなにも苛立つのかと

答えが見えて来た

独りになる時間が無い

水辺に行く時間が無い

観音様のお山に登ってない

ぼちの散歩にも行けてない…

海辺に行きたいなあ…

ぼちと行きたいなあ

前は歩いて10分で行けた海

バイパスが通って突っ切れなくなった

好きな場所や時間が奪われて行く

それと引き換えにやって来る何か…

次は何が奪われ

何がやって来るんだろう…？

あゝあ！

やっぱり200字以上ってさあ

詩じゃ難しいよ！

Twitter紛いの冷やかし警戒しての事？

メチャ困るんだけど！

## 希望

地球ってまああるいよね？

って事はさあ…

どこに居ても真ん中なんだよね？

じゃあどうする？

じゃあどうしよう？

地球の真ん中天辺で

限りある命抱いて

宇宙を背負ってうすぐまる？

勿体ない！

勿体ないよ！

じゃあどうする？

じゃあどうしよう？

取りあえず

やりたい事をやってみよう！

法律に触れない程度にさ

何がしたい？

私はみんなの思いを聞きたい

愚痴でも自慢でも良い

みんなの心の声を聞きたい

いつか出来るかなあ？

どうすれば良いか…

考えてみるね

## 先ずは私自身を愛そう

私はこの身体を45年使ってる

魂も今回の受肉では45歳

でも本当の歳は…？

魂に年齢なんて無い

あっても無いはず

魂に年齢は無く

あるのは経験

私の魂はたぶん

幼い頃に性的虐待を受けた

あの時に在る

抜け出せない

広い暗闇から抜け出せない

たまに

その自分に会いに行く

ギュッと抱き締めると

親に初めて嘘をつき

訳が解らず震えてる私自身

先ずはこの自分を愛そう

そうしなければ

この闇は消せない

過去は過去として手放そう

そう思いながら

そう出来ない自分との戦いが

今日も続く

勝てるいつかを信じて

許せない自分を愛そう

わたしぼち

わたしぼち

わたしまる眉ワンコ

彩さんの事が大好きだったの

それが突然居なくなったのよ

彩さん…

そしたらね

この前来たの

見た事もない男連れて

おまけにイタチの匂いさせてた…

わたし解ったの

そう言う事ねって

彩さんは

行ってしまふのね

違うお家の人になるのね

わたし解ったの

彩さんとはもう

お散歩に行けないって事

解ったの

知らないお兄さんに

彩さんをお願いします

わたしそう訴えたの

解ってくれたわ

白いフルエアロのセドリック

おまけにシャコタン

ママさんがスゲー族車って言ってたわ

人生まで車高短にならないように

お気をつけてあそばせ

わたしぽち

ママさんに似て

ちよつと皮肉屋ね

## 異次元散歩

恋の駆け引きを楽しみましょう

だつてさ

今日の占い

…出来ねえなあ

恋はいつも真つ向勝負

ストレート三振なんて当たり前

もうすぐバレンタイン

この日を待つて

先を越された人が

何人いるんだろう？

私はバレンタインデーは嫌い

意味わかんないし

ホワイトデーなんてもつと嫌い！

大っ嫌い！

ホワイトデー目当てで

義理チョコ配る女子

なんか憐れ…

チョコ配らなきゃ

プレゼント貰えないんでしょう？

私はね…

お金で買える物なんか要らない

気持ちが欲しい

でもさあ

今既に

気持ちもお金で

売り買いする時代みたいだね

私さあ…

なんか

異次元に迷い込んだ

そんな感覚

浮いてる…

## お散歩

あたし ぼち

あのね…

今日ママさんとお散歩したの

すっごくくやし振り

あたし諦めてたの

ママさんのお散歩は

もう無理なのかしら？

ってね

どうも憑物が取れたみたいよ

居たんだって

おうちにおぼけ

あたし

ちょっと知ってた

でもほら

あたしワンコでしょ

上手く伝えられないの

でもママさんは

薄々感じてたみたい

祟りつてやつよ

怖いわねえ

人間て

あたしはね

死んでもママさん守るの

呼ばれたらすぐ行くわ

お空のご主人様が許してくれたらだけど

ママさんに呼ばれたら

あたし絶対飛んでく

ママさんが好き

あたし ぼち

あのね…

ママさん喜んでたの

ママさんの詩を

お気に入り登録してくれたんですって

燦然と輝く「1」なんですって

あたしね

おやつ奮発してもらったの

ほら

うちのパパさん自由人でしょ

ママさんにお金くれないしい

だけどママさんおやつ買ってくれたの

しかもあたしの大好物よ

あたしね

おやつとお散歩が大好き

でもね

ホントはね

ママさんの事が一番大好き

あと何年ママさんの傍に居られるかしら？

ママさんはあと10年っていつの

あたし生まれてから今が10年目よ

今までの倍よ 倍！

だけど頑張るの！

ママさんと居たいから

パパさんに蹴られても

あたしママさんの為に頑張るの！

だからママさん

泣かないでね…

辛い事いっぱいでも

泣かないでね

あたし頑張るから！

## あたしのシアワセ

あたし ぼち

今日ね

彩さんが来たの

ママさんね

あたしに言うのよ

自分のお母さんがしてくれた事を

そのまんま子供達にしたくなる

ってね

でもね

あたしきつと生涯バージン

ママさんの気持ちは解らないけど

ママさんの寂しさは解るわ

だって寂しいものあたしも

彩さんの

トイレに100Wみたいな

無意味な明るさ

あれって才能よね

寝る為に生まれて来た

これって名言よね

彩さん九月にママになるのよ

あたし応援するの

あたしはみんなの応援団なの

そしてね

それがあたしのシアワセなの…

## ママさんの嬉しい

あたし ぼち

ここにね

感想を寄せてくれた人が居たらしいの

ママさん喜んで買って

丸一日考えた返事がね

笑っちゃう程つまらない文章なのよお

あたしね

そんなママさんが好き

いつも一生懸命なのよ

でも要領が悪いの

口下手だし

無口だし

あんな無口なおばさんて

少ないと思うわあたし

でもね ほら

元右翼でしょ

怒ると怖いの

怒鳴ったりしないけど

静かに怖いの

だからあたしやめたの

わざとトイレはみ出す事

きつぱりやめたわ

だってママさん

あたしの裏をかいて

泣くんですもん

泣かれちゃあたし

たまんないわよ

そんなママさんがね

感想喜んでました

ありがとうございました

## 閃き

何を誓って生まれて来た？

思い出せない

誰を頼りに生まれて来た？

そんな人 居る訳ない

何かを誓って

自分を信じて生まれて来た

思い出さないと

早く思い出さないと

焦る

日々焦る

もう人生あんまり長くない

気が付くのが遅かった

まだ間に合う？

もう間に合わない？

私は間に合う方に賭けた

自分に賭けた

さあ！

動いてみよう！

歩いてみよう！

自分を信じてみよう！

そうすれば

ほらね

周りが輝いて見えるじゃん！

ここで終わりたいのにさあ…

200文字の壁が投稿を阻む

どう言う事よ？

ぐたぐた書けっか？

でもね

「じゅっつじゅのぐよ

凧さん文字数なんかには負けないからね！

## 傍ら

辛い時はね

辛いつて言つて良いんだよ

悲しい時もね

悲しいつて泣き叫べば良いんだよ

笑つたり馬鹿にしたりなんてしないから

だつてね

私も同じ

みつともなく

のた打ち回つてる

そして地球も回つてる

同じ日なんてないんだよ

今日泣いたからつて

今日辛いからつて

明日も泣くとは限らない

明日も辛いとは限らない

だから今日の涙は

今日のうちに流してしまおう

今日の辛さは

今日受け止めてしまおう

きつと明日は

きつと明日は笑えるからさ

一人で泣くのが辛いなら

私を呼んで

忘れないで

私が居る事を…

ここに居るからね

おれラロシ

おれ黒猫ラロシ

もうすぐ逝かなきゃなんねえ

寿命ってやつさ

15年も生きちまった

尿道結石なんかも患っちまった

もっと美味しいもん食いたかったなあ

でもさあ

おれの具合が悪くなってから

ママさん色んなもん食わせてくれたぜ

生ハムとかさあ

鶏肉とかな

美味かったなあ

おれさあ

風呂上がりの

ママさんの足についた

シャワーの水滴舐めるの趣味でさあ

ずっと待ってたもんさ

おれ約束守れなかった

約束したんだママさんと

ずっと暖めて居てやるってさ

でももうダメさ

身体動かねえや

死んだらどうすっかなあ

とりあえずお空の番人に挨拶だな

そして暫くママさんの傍に居よう

ママさんがおれを忘れるまで

ずっとずっと傍に居るぜ

だから

頼むからさあ

泣かないでくれよな

## 探し物

独りになって考え事がしたい

だけど独りになると

何を考えたかったのかさえ判らなくなる

頭の中がまとまらない

ずっと渦を巻いたまま

いつまで続くんだろう

このカオス

本当に混沌としてる

私は何がしたい？

どう在りたい？

いい歳こいて

まだもがいてる

いい加減見つけるよ

何がしたいのか見つけてくれよ

ただ息してるだけの人間にはなりたくない！

じゃあ何がしたい？

判らない

いい加減にしてくれよ

また200文字の壁

これもある意味私の壁

全くムカつく

って

あと何文字よ？

魂のまま

おいら ラコシ

やっとお迎えが来たぜ

今からお空の受付済ませてさ

ママの傍に降りるんだ

男の約束だからな

おいら後悔なんて一つもないぜ

尿道結石だったからさ

外出は禁止さ

それでもたまに家出した

すぐ近所だけだな

じじいやばあ呼びに来ても

おいらは知らん顔さ

でもママが来れば捕まってやった

人間てのはさあ

他人の幸せばかり見て

自分の幸せ見ないんだよな

おいらは幸せだったぜ

季節の移り変わりは綺麗でさあ

窓から飽きずに眺めてた

傍らにはママがいつも居てくれたのさ

良くママの布団で一緒に寝たりもした

でもおいらわがままだからさ

布団を出たり入ったり

それでもママはおいらを叱らなかった

好きな様にさせてくれてた

にゃんこは気まぐれだからね

これがママの考えさ

おっと！

おいらの受付の番

…  
…  
…  
…

無事受付終了

取締役を探して…

おっ！

居た居た

取締役さんよ

ママんとこ戻ろうぜ！

これからはずっとおいら達ママと一緒に！

## おいらの独り言

おいら ラコシ

昨日はおいらの葬式さ

火葬場送りは免れたぜ

動物霊園で個別火葬さ

おいらママと一緒に参列したぜ

ママは気付いて笑ってた

肉体には限り魂は永遠

ママはそれを知ってる

おいらを猫としてでなく

魂として接してくれてた

だからおいら

いつもママを笑わせた

魂として

接してくれたママへの

感謝の気持ちさ

嬉しかったなあ

ママが笑うと嬉しかった

言葉なんて要らなかった

全部が以心伝心

心地良かったなあ

今もそれは変わらない

ママはおいらの魂を感じ

おいらはママを守る

魂だけつてのも案外良いぜ

好きなだけママと居られる

おいら

今も幸せだぜ！

## 修復の術

心が碎けちゃったらね

お休みすれば良いんだよ

思い切って全部お休み

仕事も理性ある人間も

全部お休みしてさ

身体がしたい事だけしようよ

好きなだけ寝て

美味しい物食べて

昼間っからお風呂に入ったりしちゃってさ

忘れちゃいけないのは

お部屋に生花を飾る事と

鉢植え達への水やり

お花を飾るのは心を癒す為

お水をあげるのは共存者としての義務

後はねえ…

ぼちの散歩！

私の心が砕けると

必ずぼちが傍に来る

丸々太ったぼちの

あばら探して癒される

本能のまま存在してみる

そうする内に

心は何とか修復される

粉々にヒビが入っても

崩れないフロントガラスみたいな感じに

常にヒビだらけだよ

私の心…

おっきな支えが無いからね

私を支えるのは

結局は私

家族を支えるのも私

バカでつかいアンプ買いやがって

喜んでもる旦那を支えるのも私

それが私の果たすべき責任

でもさ

心が砕けちゃったらね

それも休んじやう

大事なのは

一番大事なのは

私の心

魂なんだもん

## 想定

ふと考えてしまった

ぼちが居なくなったら

私はどうなるんだろう？って

ぼちは魂だけになっても

きっと私の傍に居る

頭ではそう考えても

心は対応出来るかどうか

ぼちは居るだけで癒してくれるのに

そんなぼちを

散歩にすら連れて行けない日がある

せめて好きな物を

たらふく食べさせてあげようと思ったら

食べ過ぎてメタボ犬

暖かくなったから

散歩に行こうねぼち

我慢ばかりさせて

ごめんねぼち

こんな家に連れて来た事許してね

大好きだよ

ずっとずっと大好きだよ

## アースエンジェル

私に向かつて

真っ直ぐに伸ばされた

小さな両の手

抱っこをねだる天使の手

あなたは何故

この地に降りた？

自分で望んで降りた？

私達家族を選んで降りた？

そうだとしたら

ありがとう

私は

あなたが居るから

頑張れる

私に向けられた両の手に

望むものを差し出す為に

私は頑張る

鉛の様な身体を引き摺り

グシヤグシヤな心を

あなたの笑顔で固め

今日も戦場に向かう

言葉の矢が

飛び交う戦場

誰かが仕掛けた

地雷を踏まない様に

流れ矢に当たらない様に

そう願いながら

戦場で堪える

全ては

あなたの為

地上に降りた天使の為

あなたを満たす為

私は生きる

## お金の使い手

お金は使おう

お金に翻弄され

お金に使われるのではなく

お金の使い手に

私になってやろう

一生懸命働いて

お金を稼いで

好きな様に使おう

でもね

無駄遣いはしないよ

無駄遣いは

お金に使われてる感じがするから

衝動買いもしない

何度後悔した事か…

少しのお金を

如何に有意義に使うか

そこを楽しもう

お金に使われて来た

今日までにサヨナラ

明日からは

身の丈に合った

豊かさを楽しもう！

お金も私も生きてくる

きつと

きつとね！

明日からは豊かな未来になるよ

## スペシャルなお部屋

私は不幸ではない

私は不運でもない

そして

ツイていなくもない

ただちよつと

欲張りだっただけ

わがままだっただけ

無い物ねだりしてただけ

見回すと

物が溢れてる

人も…

人間ってさあ

手の届かない物を欲しがるんだね

でもそれは良い事

目標を持つって事になる

でもさあ

絶対手の届かない人っているじゃん

結婚してる人とか

偉人とかさ

芸能人には興味ないんだ

偉人も諦めがつく

でも

結婚してる人って

手が届いても

手を伸ばしちゃいけないんでしょ？

私はね

男女間の友情って成立すると思う

それなのに

友達にさえなれない

それはね

世間の色メガネのせい

男と女二人で居ると

いかがわしい想像しか出来ない人達のせい

でもそいつらが消えても

きつと手には入らない

諦めよう

これ以上切なくなる前に

いつそ諦めてしまおう

私は幸せなんだから

欲張る気持ちが不幸を呼ぶ

焦る気持ちが不運を運ぶ

何も要らない

でもね

私の心は常に開いてる

あの人を友として

無二の親友心友として

迎え入れるそこだけは

常に開いてる

他の人は絶対に入れない

特別な心の一室

みんなも持つてるよね？

そんな素敵なお部屋を

## 謳歌

私の心の中には

物凄くどす黒く

光の当たらない

スペースがある

どうする事も出来ない

光も当てられない

私をキチガイにした

過去への憎しみ

忘れないと

手放さないと

気持ちばかりが焦る

どうして？

どうして楽しかった事は忘れちゃうのに

憎しみや恐怖は残るの？

悲しかった事だって

忘れちゃうのにさ…

自分を守る為に

むやみに人を攻撃しちゃいけないよね？

先手必勝かと

思ってるかも知れないけど

自分の放った矢が

自分に向かって来てるんだよ

優しさを放てば

必ず

優しさが返ってくる

気付かせたかったけど

それを頑なに拒むから

諦めたよ

私は心の暗闇に

自分で光を当てる

そいつと一緒になりたくないから

私は恐怖と憎しみを手放し

キチガイを謳歌する

伝書鳩

伝書鳩は

どうしておうちに

戻るの？

そう仕込まれてるから？

私と同じだ…

私もそう仕込まれてる

イヤだって思わないのかなあ？

帰りたくない時ってないのかなあ？

そのまま大空の

果てまで飛んでみたくはならないの？

私はね…

隣りの巣さえ行けない

しがらみが

巻き付いてて行けない

切っても切っても

巻き付くんだよね

そのうちさあ

そのしがらみを

切るのさえ億劫になる

結局

自分の不甲斐なさを思い知り

明日への希望を

胸に秘めながら

まだ負けた訳じゃない

そう自分に言い聞かせ

今日も屈辱の扉を開ける

居場所の無い家に帰る

でもね

心は伝書鳩にはならないよ

私の心はいつも

自由に大空を羽ばたいてる

そうじゃなきゃ

今

生きちゃ居ないよ

## 母の愛

子供を愛する母の愛は凄い

死んでも尚

私は母の愛情と

存在を感じる

呼べば必ず来る

来て「大丈夫よ」って言うてくれる

匂いがするんだ

お母さんの匂い

ずっと前電話で

お母さんに言われた

「お母さんここに居るからさあ、そう思えばあなたもまだ頑張れる  
でしょ？」

涙が出た

出たのに今

これが現実なのか夢なのか

判らなくなってしまうた

それが悲しい

覚えていられない悔しさ

現実と夢との混同

これが私の現状

こんな私でも

一応母親

「お母さん！

私もね、お母さんに負けなくらいの愛情で

子供達を守ってるよ！

色んな事

体現してくれてありがとうね！

そっちで美空ひばりのコンサート観てる？

そのうち行くからさあ！

待っててね！

## 自称プロサーファー

私はプロの家サーファー

家の中のあちらこちら

そこかしこに潜む

ビッグウェーブを乗り切る事が仕事

だからね

常にパドリング状態

休む暇なんか無いよ

油断してると家波に吞まれるからさ

ボードはね

超メガトン級の

愛と勇気と精神力

それと

私の法律から出来てる

どんな波だって乗り越えて来た

越えられない波なんか無かった

また今度も越えてみせる

だって

独りじゃないからさ！

もう絶対呑まれたりしないよ！

これだと8文字足りないって…。

でも付け足したくないんだよね。

## 黄色い花咲く小道

黄色い小さな花咲く小道

あなたと二人で行きましょう

何処までもどこまでも

二人一緒に歩きましょう

手は繋いじゃダメなの

人生のパートナーじゃないから

魂のパートナーだから

お互い高みを目指し

一緒に歩きましょう

疲れた時には励ましてね

それが唯一の私のわがまま

あなたが疲れたら私が励ます

黄色い小さな花咲く小道

どこまでも何処までも

一緒に歩いて行きましょね

私は決してあなたを裏切らない

そして…

何があるうと

私はあなたへの

叶わぬ愛を通し抜く

何も求める事無く

私は私の愛を貫く

んなもん考える余裕無し

朝起きたら

そこはタナトスの森

身体が動かない

タナトスの森に

飛び込む事さえ

出来ない

助けて欲しい人に

助けてと言う事さえ

出来ない

何故って？

許されていないからだよ

タナトスの森に

引き込まれそうな私を

後ろから引つ張る感覚

振り向くとぼち

お口で服の裾を引っ張ってる

ありがとねぼち

なんかさあ

辛いが過ぎるとさあ

涙も出ないんだね

身体が痛い

何もしてないのに

身体中が痛い

悪い事は

全部私のせい？

出口が見えない

助けて

たまには目に見える助けを頂戴

こんな風になると

改めて精神病を自覚する

やっぱりそうなのか…ってね

## 見せつじしよ

なんで生きてるんだらう？

生まれて来たから？

なんで生まれて来たんだらう？

生きる為？

死ぬ為？

悩む為？

辱めを感じる為？

愛の為？

そう言えば

私達はみんな

愛から生まれて来た

魂が地に降ろされた時

そこには少なからずの

愛が在った筈

そこに気付かないまま

愛を生み落とすバカな人間

そんな奴等が

愛を殺す

泣きやまないから

床に叩き付けただと？

人間ですらない親

愛は

自分の選択の間違いに気付き

空に帰る

愛を見ないまま

痛みだけを抱いて

空に帰る

どこに行っちゃった？愛

どこに隠してる？愛

みんなが持つてる愛

見せ合おうよ！

心置きなく

呼吸をしよう

心置きなく

笑おう

心置きなく

怒ろう

心置きなく

泣こう

心置きなく

人生を謳歌しよう

恋を謳歌しよう

良いじゃん

誰かに何を言われたって

言いたい奴には言わせておけば良い

出来る限り

人生を楽しもう

愛し愛され

愛を楽しもう

でも愛を弄んではダメよ

愛する事愛される事を

満喫しよう

ちっちゃな幸せを見つけよう

そしてそれを

大袈裟に喜ぼう

生まれて来る命を慈しみ

消え去る命に感謝しよう

私達は生きてる

それだけで

何でも出来る

生きてる事を楽しもう！

心置きなく

心置きなく

止まない雨は無いなんてね...

そんなの解ってるよ

止まない雨は無い

明けない夜は無い

そんなの解ってる

私の大嫌いなフレーズ

ひねくれてるのかなあ

凹んでる時に聞くと

凄くムカつく

もしかして判っちゃった？

そう...

今酷く凹んでる

でね

その原因が判らない

でもね

凹んでなくても

止まない雨は無いとか

そんな事言われると

ムカつく

真っ暗い心の闇に居てさ

一点の明かり目指して這いつくばってるのに

止まない雨も

明けない夜も

見えないっつーの

見えるのは

自分が犯した

過ちの残像だけ

それに負けないように

必死で生きてるのにさあ

止まない雨も

明けない夜も

ただの綺麗事だよ

耳触りの良い

私の心を砕く最悪の言葉

## 心の欠片

今年のお誕生日には

心をちょうだい

貴方の心をほんの少し

欠片で良いから

ちょうだいね

値段の付いてる物なんて

そんなの要らない

あつたかくて柔らかい

心の欠片をちょうだい

それをね

幸せの宝箱に入れるの

ツライ時には眺めて

嬉しい時には突っ突いて

悲しい時には撫でてみるからと

「お誕生日おめでとう!」

その一言で良いの

いつそいでカプセルに入れて

幸せの宝箱に入れちゃう

それって心だよ

私のお誕生日を祝う気持ち

それって最高のプレゼントだと思わない?

私にとっては最高のプレゼントなの

一億円出しても買えない

貴方の気持ちを

ほんの少し

私にちょうだい

ちっちゃいちっちゃい

欠片で良いから

今年だけで良いから

たける

虐待って何？

自分が親にやられたら

自分の子供にしても良いの？

児童相談所に

通報される程の

虐待ってどんななの？

たけるはママ好きだって

3歳にして

周りに気を使う

可哀想なたける

たけるはさあ

ママに苛められる為に

生まれて来たんじゃないよね？

ママだって苛める為に

たけるを産んだ訳じゃない

何かのきっかけ

何がきっかけ？

それが判れば

虐待の連鎖を止められる？

真っ白な

たけるのお腹に紫のアザ

居ないママに気を使い

お菓子も受け取れないたける

きっかけは

ほんの些細な事なのかも

些細だから

見つけられないのかも

虐待は

きつとママも辛い筈

見つけてあげたいなあ

たけるの為に

マッチ棒みたいに

細いたけるの為に

ホントは優しいママを

見つけてあげたい

おじいちゃん

ねえ おじいちゃん

ボクの夢知ってる？

ボクの夢はねえ

大人になる事だったの

でもさ

おじいちゃんが

ボクのを忘れて

車に7時間も放置するから

ボク

ボク死んじゃったんだよ

どうしてお姉ちゃんと

一緒に車から降ろしてくれなかったの？

ボクも保育園行きたかった

お母さん大丈夫かなあ？

お父さん大丈夫かなあ？

2人共泣いたりしてないかなあ？

ボクは泣いたよ

車の中でワンワン泣いた

でも誰も来てくれなかった

喉がカラカラになったよ

熱くて暑くて

ボク寝ちゃった

起きたらお母さんに

抱っこしてもらえるとと思ってさ

泣くのを止めて目を閉じたの

起きたらね

ボクを抱っこしててくれたのは

お空のお父さんだった

おじいちゃんはその間

何してた？

お茶飲んでお昼ご飯食べてた？

その間に

ボクは死んじゃった

もっと生きてかった

生きてかったよ

おじいちゃん！

## 私の正体

私が決める

好きも嫌いも

全部私が決める

好きな人も嫌いな人も

好きな花嫌いな花

嫌いな花は無いけどさ

好き匂い嫌いな匂い

全部全部私が決める

あの人の事も私が決めた

何でも話せる人だって

私が決めたの

私はあの人に

気を使う振り

そう

振りだけだった

気を使ってると思いながら

言いたい事を言ってた

ありのままの

思いをぶつけてた

でもね

これからもぶつけるよ

だってそう決めたから

私が決めたから

私の正体はね…

本能…

みんなが隠しちゃう

本能なんだ…

## 幸せの実

折角たわわに実らせた

沢山の嬉しい幸せの実

どんなに大事に包んでも

おばんカラスに突突かれる

醜い言葉と

勝手な憶測と詮索と

なりふり構わず突突き落す

この実は

あの時の嬉しいの実

この実は

あの時の幸せの実

滅多に実らない

大切な実を

おばんカラスは

無惨な形にしてしまう

そして

悪びれる事はない

最悪なおばんカラス

落ちた実は

もう元には戻らない

どうしよう

手放す？

そうすれば

新しい実が成る？

今ね…

幸せの実の代わりに

涙の実が

たわわに実ってる

キラキラ光る涙の実

止まらない涙はない？

ふざけんな！

心の涙は

そう簡単には

止まらない

そしてね

無理に止めちゃいけないの

だから

私の心は

今日も土砂降りの涙

## 無題

苛々してる

涙が出るくらいに

なぜなんだろう

欲しいものは全部持つてる

本当に欲しいもの以外は

全部持つてる

自由ってどんな感じ？

なんにも考えないで

好きな事をするって

どんな感じなの？

その裏側で

犠牲になってる人が

居る事を解ってる？

もうクタクタだよ

あなたに振り回されるのは

もう沢山だよ

お休みの日は

自由気ままにお出掛け

それも何処かでご宿泊

女？

居たら万々歳だよ

安心してサヨナラ出来る

慰謝料も養育費も要らない

私は…

私は

あなたの居ない

生活が欲しい

自由に呼吸が出来る

あなたの居ない

生活が欲しいよ！

バカちん共よ…命を道具にするな！

命を道具にする女が居る

男の気を引く為

愛を勝ち取る為

縛りつける為

別れさせない為

どれもこれも自分の為

自分を守る為の道具として

魂を身ごもる

ちよつとそこのバカ女！

あんたは旦那を離さないが為の妊娠だけど

お腹の魂は

全て承知で降りて来てるんだよ！

そう言ってやりたい

でも言っても解らない

金に目が眩んだ

強欲なバカちゃんだから

旦那は自分の物

パートナーではなく

所有物

だから勝手は許さない

400万円の借金を

工面してもらっても当然の事

それでもあんたは私に尽くせ

そんな女に

もう一人子供が欲しいと言われ

なすがままの男

情けない？

結局男ってしたいだけ？

それとも甘んじて屈辱を受け入れてるの？

そんな愛の無い子が

もうすぐ光りを見る

新しい命は女の子

きつと道具として

可愛がってもらえるだろう

でも男よ

あなたに夢や希望

目的や目標はあるのかい？

惰性で生きてるのは

死んでるのと同じ

しっかり生きなよ！

だれがその子を守るの？

今度自分の子じゃないかも…

なんて言ったら

その時は…

私の全総力を集結させて

あなたの足下を掘る…

いつか落ちるよ…

## 雨音

雨の音が心地良い

珍しく心地良い

これってね

たぶん心が凪ぎてるから

色んな事があるけどさ

たまには凪ぎも良いよね

きつとまたすぐに

風が吹き荒れる

心が凪ぎた理由はね

あの人に

希望があつたから

嬉しかった

安心しちゃったよ

諦めてもいなかった

そんな私の心に

雨が乱舞する

今夜は激しいベリーダンス

それでも

私の心は凧ぎている

なんか久し振りに

心が満たされている

贅沢だよ

心が満たされるって

最高の贅沢だよ

そこに激しい雨の音

嵐の前夜祭かもね

でも負けないよ

私は負けない！

みんなめ負けない！



想い

想いは果てない

そして自由

想いは朽ちない

そして新鮮

誰かを想う

毎日違う気持ちで

毎日同じ人を想う

命の蝋燭に

炎をともしように

毎日その人を想う

心臓がゆっくり動き出す

血が身体を巡り

頬を赤く染める

そんな自分が愛しい

誰かを愛してる

自分が愛しい

でも

私はいつまで

偽りの私で在り続ける？

肉体が朽ちるまで？

そうなる前に

私は本当の私を

解放してみたい

きつとみんな驚く

それを見て私が驚く

なんて滑稽で

なんておかしいんだろう

ちょっとやってみたい気がする

だけど今は

想いを風に乗せて

あの人に届けよう

誰と何処に居ようとも

私が愛する人は唯一人

唯一人だけ

## 飼い犬

お金を持っていても

自由が無いのなら

それはただの飼い犬

誰かの言いなりになり

結局は意思を通せない

足枷を増やす事になると承知で

甘んじて要求を飲む

愛すべき飼い犬よ

キミはそれで幸せかい？

いつもいつも返事は無い

キミの希望はなんなのさ？

返事が無いと言う事は

きっと幸せなんだろう

粉々に砕けた心集め

また闇に帰ろう

作り笑いの日々で

キミだけが救いだつた

キミの幸せを願ひ

私は闇に戻る

解っているよ

返事が無い理由

それでも時々寂しくなる

だからこうやって噛み付く

私は財布も持てないただの飼い犬

惨めな飼い犬

足枷なんて無数に付いてる

心の自由すら消えちやいそいな

惨めな飼い犬は私だつたね…



## ようこそ

光の中へようこそ

あなたは戦場に降りた天使？

この世は戦場だって神様が言ってた

そこに学びに降りるって

みなそれぞれの学びをするって

そしてね…

やっぱり子は親を選んで降りるんだって

みんな忘れちゃいけない

あなたも私もみんなそう

親を選んでは自分

平成22年7月24日

あなたが生まれた日

ようこそ

この世へ

あなたも私達の仲間

死を背負って生きる

私達の仲間

さあ

如何に生きるか

それはあなた次第

だけど私は

あなたの幸せを願う

仲間だから

大切な大切な

地球上の仲間だからね

平成22年7月24日はね

私が生まれ変わった日なんだって

神様が言った

「昨日までの貴女とは違う。今日貴女は生まれ変わった。」って  
なんだか良く解らないけど

私は私で良いらしい

自分を否定しなくて良いらしい

このまま

愛する人を愛す

出来れば

私に関わる全ての人を

癒したい

ようこそ光の中へ

この世は戦場だけど

中立区域は必ず在る

私が

その中立区域になる！

なんてね

なりたいなあ〜っと思って！

違っただよ

毎日笑っているけどね

全てを許した訳じゃない

全てを受け入れただけ

だって拒否出来ない事だもの

それだったら

黙って受け入れて

対処した方が楽

足掻いたりもがいたり

そうして何とかなるのなら

足掻きももがきもする

でもね

そうならないのなら

全て受け入れて静観した方が良い

諦めた訳じゃない

その内必ず出口が見つかる

私は見付ける

希望の光りを！

辛いよ

毎日色んな辛いが

駆け足でやって来る

苦しいも悲しいもやって来る

でもね

必ず一つは

嬉しいと楽しいも

毎日必ずやって来る

って言うか見付ける！

私は嬉しいと楽しいを

見付ける為に根性を使う

辛いと苦しいと悲しいに

根性を使うとね

多過ぎて疲れちゃうからさ

大好きな人の笑顔一つ

それだけで

私の嬉しいと楽しいは

満たされる

幸せを感じる事が出来る

毎日楽しいから

笑ってる訳じゃない

笑ってないと

負けちゃうから笑ってるだけ

辛いや苦しいや悲しいを

クソ食らえ！って

笑い飛ばしてるだけ

ホントはね

人生放棄したいくらいだけどさ

負ないよ！

私は絶対負けない！

言葉なんて要らない

ひとしきりの昔話

その後の僅かな沈黙

「どうしたい？」って訊く貴方

「抱いて…」なんて言えないよ

いつしか言葉は消え

聞こえるのは

優しいため息

お膝の上に乗せたまま

昔の男の話しなんてさせないで…

黙って貴方を感じていたい

二人の関係は続くの？

続くとしたら

いつしか言葉は要らなくなる

心で解り合えるから

言葉で伝えるのは

感謝と尊敬

痛みは抱き合えば癒える

愛は伝えちゃいけないの

私達は仲間だから

パートナーは違っても

同じ目的を持つ仲間だから

抱き合うのは

傷を舐め合う行為

お互いへの労り

愛は伝えちゃいけないの

絶対伝えちゃいけないの…

小さいけど大っきい

私が笑っているのはね

幸せ三昧だからじゃないよ

痛いがいっぱいだから

辛いがいっぱいだから

悲しいもいっぱいだから

細やかな幸せを

見つけるのが上手なだけ

貪欲に幸せを見つける

私をからかってくれただけでも良いの

大好きなあの人

笑っているだけでも良いの

目の前を飛ぶ蝶々や

元気なお日様

オレンジ色に輝く夕焼け

内緒話しをしながらすり抜ける風達

優しい雨

激しい雷

そんな事も

全部全部私の幸せになる

でもね

一番の幸せは

大好きなあの人と

触れ合う事

心と身体で触れ合う

全ての悲しみが

頭から抜ける

痛みからもしがらみからも

その瞬間だけ解き放たれる

生きてて良かった

小さいけど大つきい幸せは

毎日私に会いに来る

とびきりの幸せは

時々私に会いに来る

ねえ…

とびきりの幸せさん

今度はいつ会えるかしら？

幸せを感じる心

ずっと忘れないよ

忘れた時から

オバサン化が始まるよ

私ね…

良い恋してる

一人で勝手に密かにだけど…

おばあちゃんにはなるけどさ

オバサンになんかならない！

いつも色んな事を感じていたい

痛いと辛いと悲しいは

幸せを倍増させるスパイスになるから

だから負けない

ただ…

小さい幸せも

大っきい幸せも

見落とさない様に

零さない様に

しっかり受け取らないと

大好きなあの人ができる幸せは

時々あえて隠すから

しっかり見つけて

宝箱に入れないとね

だから私は笑うの

痛みを知っているからこそ

私は笑うの！

## 命のバトン

母から私へ

私から娘へ

娘からその娘へと

命のバトンが繋がれた

この命のバトン

また何時の日か繋がれる

神様お願い…

孫のバトンを断たないで

どうか快方へと導いて下さい

継がれたばかりのバトンを抱いて

孫は今保育器の中

小さいからじゃないの

大きくて難産

それ故の処置の為

五体は満足

だけど産声が出なかった

3838gの大きな身体で

小さなバトンを守る孫

ねえ結愛ちゃん

そのバトン

必ず次に繋いでね

光りの中へと

命のバトンを繋いでね

ようこそいらっしやい

地球はきつと

貴女を歓迎してる

ばばも貴女を歓迎してる

早く抱っこしたいよ

神様：

お願いしたからね！

## 落ち零れ

私何してるんだろ

毎日毎日…

癒しも安らぎも発散も無い

なのに時間は過ぎる

時間に乗れない

時間だけが私の横を過ぎる

無駄に生きてる

そんな気がして仕方ない

時間に乗りたい

時間に乗って

ちゃんと生きたい

じゃあどすれば良い？

私は何がしたいんだろ？

完全に見失ってる

私が私を見失ってる

足掻くのは止めて

少し落ち着こう

自分だけの時間を持つとう

もうすぐ私の誕生日

たまにはご褒美をあげないと

良く生きてると思う

良く逃げ出さないとと思う

うんと褒めて

ご褒美をあげよう

時間からは落ち零れたくない

零れ落ちるのは

涙だけで沢山だよ

何がしたい？

自分に問いてみた

何がしたい？

答えはね

お勉強がしたい

だった

そう言えば

少し前から

人に教えてもらいたい衝動に駆られてた

講義ってやつを受けてみたい

目標は常に自分で作る

誰も作ってはくれないし

誰かに従うなんて

死んでもヤダ

大学行って

法律を勉強するよ

私自身の法律とどう違うか

国が定めた法律とは？

色々確かめてみる

二年後だけどね…

なんて言ってるよ

無理だと思っでしょ？

でもそれを通してこそが私

無理なんて事は無い

自分が諦めてしまわなければ

人生において

無理なんて無い

諦めずに

逃げずに

私は目標を達成する



## 悲しみが池

日々衝撃的な事が多過ぎる

痛い

身体中が痛い

心なんて粉々で拾えない

悲しいが集まって

涙の池が出来る

悲しみが池

沢山の悲しみが泳ぎ

見た者を凍らせる

自分の存在を恨み

命ある事を後悔する

死んでしまいたい

この身を滅ぼしてしまいたい

あいつを殺れないのなら

私が消えてしまいたい

悲しみが池に

身を投じよう

一瞬で息も凍る

神様…

神様ごめんね

もうダメかも…

またまたあとか思ってる？

私なんか居ない方が良いんだよ

夢も希望もズタズタだよ

笑えないし喋れない

神様…

そっちに帰っても良い？

## 孤独

物凄い離人感

私から離れてく

物凄い孤独感

私しか見えない

宇宙は私を見捨てない

それは解ってる

頭じゃ解ってるよ

でもね

身体が解ってくれない

寂しいって泣くの

私を理解してなんて

無理だって事も解ってる

でもね

あの人は解ってくれたの

私の無鉄砲さを

解ってくれたの

神様…

まだそつちに帰っちゃダメ？

這いずってばかりなのに

まだ続けなきゃダメなの？

それならば

あの人と過ごせる

束の間の時間を頂戴

全てを超越した時間にするから

秋は人肌恋しいよ

まして

知ってしまえば尚の事

## 区切り

今日で丸々一年が経ちました

魂のリセットは完結します

詩を書きたくなったら

新しく作る

精神病だからって甘く見るなよ。の方に書く

こんなところまで

遊びに来てくれて本当にありがとう

文字数規定が無ければ

もっとのびのびいっぱい書けた

詩に文字数規定ってちょっと理解出来ない

言葉数気にしてたら

思うように書けないよ

でも楽しかった

感想なんて書いてもらえると

めっちゃめっちゃ嬉しかった

何度も読み返しちゃったりしてさ

もし良かったら

今度は精神病の方に遊びに来てね

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3016i/>

---

魂のリセット

2010年11月4日09時56分発行